

原作者の三浦しをんさんからコメントを頂きました



©タカオカ邦彦

本編にあたる『まほろ駅前多田便利軒』も含め、このシリーズは、町田市をモデルにした「まほろ」という架空の町を舞台に物語が展開します。町田をよくご存じのかたには、小説内に登場するあちこちの場所を、「駅前のあのあたりかな」とか「あの通りのことかな」などと、現実の町田と照らしあわせて、お楽しみいただけるのではないかと思います。

町田にはじめていらしたかたがおられましたら、企画展をご覧になったあと、ぜひ、活気あふれる駅前を散策・探検されることをおすすめいたします。いろいろなお店があって、さまざまなひとが行き交う、郊外の町のパワーをご堪能いただけることと存じます。私自身も、「まほろ」シリーズを書くを通じ、改めて町田の魅力や愉快さやちょっと珍妙な部分に気づけたような気がしています。そして改めて、町田を好きになりました。

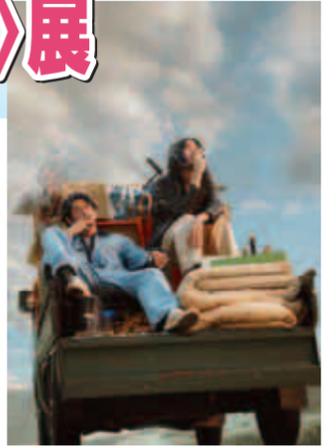
町田とまほろ、現実と架空に存在するふたつの町を、身近で刺激的な場所として「発見」していただければうれしいです。

町田市で育った作家・三浦しをんの直木賞受賞作品「まほろ駅前多田便利軒」。昨年の映画公開に続き、来年1月から、続編「まほろ駅前番外地」がテレビドラマとして放送されます。

これを記念し、市内で行われた撮影の様子、小説に関する資料等をご紹介します。

三浦しをん「まほろ駅前番外地」ドラマ放送記念 まほろの〈住人十色〉展

町田市民文学館



©「まほろ駅前番外地」製作委員会2013

関連催事

【まほろ散歩】町田駅周辺で「まほろ駅前シリーズ」に登場する場所を歩きます。 ※直接集合場所へおいで下さい。 2月26日(火)、3月10日(日)、いずれも午後2時〜3時、集合は同館1階文学サロン。 定員20人程度(先着順) 同館 ☎739・3420 FAX 739・3421

まほろ検定 番外地編

会期中、「まほろ駅前番外地」に関する検定問題を配布します。全問正解者には記念品を差し上げます。

12月20日(木)〜26日(水) TOKYO OKYOKY 飲酒運転させない

飲酒運転による交通事故の代償は「命」だけではなく、家族・賠償金・社会的地位等計り知れません。「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」を徹底しましょう。 ○車で仲間と飲食店に行く時は、お酒を飲まない人を決め、仲間を自宅まで送り届ける「ハンドル・キーパー運動」を実践しましょう。 ○お酒を飲んで自転車を運転してはいけません。 問 交通安全課 ☎724・1136 FAX 050・3160・8039、町田警察署 ☎722・0110、南大沢警察署 ☎042・653・0110

利用時間・料金体系が変わります 市営原町田一丁目自動車駐車場

問 産業観光課 ☎724・3296 FAX 050・3101・9615

2月1日から利用時間・料金体系が変わります。主な変更点は、開場時間の延長・駐車料金体系の変更・全日最大料金の設定です(駐車場の概要は下表を参照)。



定期駐車利用者を募集します

2月1日からの定期駐車利用者を募集します。募集開始は12月21日午前9時からです。詳細は原町田一丁目駐車場管理事務所(☎FAX 726・8090)へ。

原町田一丁目自動車駐車場の概要(変更は2月1日から)

	原町田一丁目駐車場	原町田一丁目第2駐車場
開場時間	午前6時〜午後11時(1月1日を除く)	24時間開場
駐車料金	午前6時〜午後11時 100円/20分 午後11時〜翌朝6時 1回700円	100円/20分 100円/60分
最大料金	平日・祝休日ともに1500円(午前6時〜午後11時の間に5時間以上駐車した場合)	
定期駐車券	平日9000円/月(30台)	全日1万8000円/月(10台)

※回数駐車券やお得なパーキングカードがあります。詳細は同駐車場管理事務所にお問い合わせ下さい。

パブリックコメント 市では条例・計画などの策定を進めるにあたり、市民の皆さんにご意見を伺います

1月4日から下表のパブリックコメント(意見公募)の実施を予定しています。

案件名	町田市暴力団排除条例
募集期間	1月4日(金)〜31日(木)
案の公表方法	・本紙1月1日号に概要を掲載(1月4日以降) ・町田市ホームページに詳細を掲載 ・市役所、各市民センター、各市立図書館等で資料の閲覧、配布 ※各窓口で開所日・時間が異なります。
意見等の提出方法	・郵便 ・FAX ・Eメール ・防災安全課ほか、指定の窓口への提出
担当課	防災安全課 ☎724・3254 FAX 050・3085・6519



町田市民文学館 刊行しました 翻刻「八重山吹」

問 町田市民文学館 ☎739・3420 FAX 739・3421

市民グループ「五十嵐濱藻・梅夫研究会」と協働で、町田ゆかりの江戸期女流俳人・五十嵐濱藻が編んだ、女性だけの連句集「八重山吹」の翻刻を刊行しました。 販売価格 800円 販売場所 町田市民文学館 〔刊行記念講演会「五十嵐濱藻の旅と作品」〕 日 1月19日(土) 午後2時〜3時30分 会場 同館2階大会議室 内「八重山吹」について等 講作家・別所真紀子氏 定員 80人(申し込み順) 申 12月21日正午から電話でイ ベントダイヤル(☎724・5656)へ。

パブリックコメント 第3次男女平等推進計画(案) 問 男女平等推進センター ☎723・2908 FAX 723・2946

市は、2001年2月1日に、男女が平等で、一人ひとりの人権を尊重し合い、個性と能力を十分に発揮し自立して生きる、男女平等参画社会の実現を目指す「男女平等参画都市宣言」を行いました。今回、宣言の実現に向け、目標や取り組む施策を方向づけた第3次男女平等推進計画を策定します。

計画の期間 2012年度〜2016年度の5年間 計画の基本目標 基本理念「男女平等参画社会の形成をめざして」を達成するために、3つの基本目標を設定します。 ①男女平等参画のための社会づくり ②人権の尊重と生涯にわたる健康支援 ③ワーク・ライフ・バランスの実現 取り組み内容 基本目標を達成するために、8つの基本施策と、各施策に基づく事業を行います。 ○講演会・情報紙での周知等で、性別役割分担意識の解消に取り組みます。 ○男女がお互いを尊重し、協力し合う人間関係を築くうえで重要な、学校教育や生涯教育の充実を図ります。 ○政策立案や行政運営、地域社会等の場で男女が平等に参画できるよう働きかけます。 ○配偶者暴力の被害者支援や防止策を充実していきます。 ○男女がお互いの身体的性差を理解、尊重し、相手に対する思いやりが持てるよう働きかけます。 ○働く場での男女平等推進の呼びかけや、就労を望む人への支援などに取り組みます。

○男女が共に就労しながら子育てや介護を続けられるよう働きかけます。 ○男女ともに参画割合の低い、地域活動などへの参画が進むよう働きかけます。

ご意見の提出方法 募集期間 12月21日(金)〜2013年1月18日(金) 〈資料の閲覧・配布〉 計画(案)は、町田市ホームページに掲載するほか、次の窓口で閲覧及び資料の配布を行っています。 配布場所 市民相談室(市役所本庁舎1階)、各市民センター、木曾山崎・玉川学園文化の各センター、町田・南町田・鶴川の各駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館、男女平等推進センター(町田市民フォーラム3階) ※各窓口で開所日・時間が異なりますのでご注意ください。 〈意見の提出方法〉 郵送、FAX、Eメール、または男女平等推進センターほか、資料を配布している窓口へ直接提出して下さい。郵便の場合は配布資料に添付している専用封筒(料金受取人払郵便)をご利用いただけます。 提出先 男女平等推進センター(町田市民フォーラム3階、〒194-0013、原町田4-9-8、☎723・2908 FAX 723・2946 E-mail city1080@city.machida.tokyo.jp)